

関東六華会の皆さまへ

苫工同窓生の皆さまご健勝にてお過ごしこととお喜び申し上げます。

苫小牧は、やっと日差しが眩しくなり春の訪れを感じますが、なかなか雪解けは進まない状況です。

私ごとになり恐縮ですが、3月25日に北大大学院・教育学学院教育学専攻の修士課程を修了することになりました。

修士論文の研究テーマは「退職シニアの社会参加の現状と課題」で、寿命の延びた今日、退職シニアは退職後にどのように生きがいを求めていくかという高齢社会における問題の研究でした。

入学間もなく、受講や研究の要領がわからないためストレスで声が出なくなり食事も喉を通らなくなるアクシデントがありましたが、2年間で所定の単位も取得し、論文審査も無事にパスしました。

若い学生や留学生との交流で意義深い貴重な経験をさせていただきました。62歳で苫小牧駒沢大学に入学し、卒業後3年間聴講に通い69歳で北大入学ですから学生生活は都合9年間となります。天才でも秀才でもない私は、退職後たっぷりある時間を使って若い学生にしっかりと着いて行くだけでした。辛く苦しい時もありましたが。今は達成感と充実感があります。これらは苫工時代に培われた「苫工魂」が大きな支えとなりました。

寿命は自分で決められませんが、どのように生きるかは自分で決められます。今やディスカウント時代ですから年齢も3割引の気持ちで人生を意義あるものにしたいですね。

皆さまのご健康と関東六華会のご発展をご祈念申し上げます。



▲名越 晴男 さん